

令和5年度

2023.12.6（水）発行

総合学科通信

第3号 北海道室蘭東翔高等学校

～ 希望の空へ ～

<http://www.m-tosho.hokkaido-c.ed.jp/>

1年次生 「産業社会と人間」 職業説明会

7月20日（木）、1年次を対象に「職業説明会」を実施しました。12の専門学校から講師の先生を招いて、各分野の職業について専門の立場から説明をしてもらいました。生徒はその前の段階で「産業社会と人間」の時間に「適性診断」や「自己分析」などを行い、興味のある仕事や適性があると判定された仕事を見つけており、今回は実際に各職業がどのような仕事をするのかについて専門的な話を聞くことができました。今年度は「コンピュータ」「スポーツ・救急救命士」「公務員・事務」「工業分野全般」「医療全般」「看護」「福祉・児童福祉・児童教育」「理容・美容」「調理」「サービス」「音楽」「デザイン」の12分野の講師の方に来ていただきました。自分の進路選択・科目選択の材料とするため、熱心にメモをとりながら話を聞く生徒たちの姿が見られました。



2年次生 「総合的な探究の時間」 インターンシップ

9月7日（木）、8日（金）の2日間にわたり、2年次生のインターンシップが行われました。別日程での実施を含め、今年度は71の事業所に受け入れていただき、生徒それぞれが進路を見据えて関心のある事業所で就労体験、学習体験をすることができました。日常の学校生活では学ぶことのできない職業の実験を体験し、今後の進路選択に大変有意義な体験活動となりました。実習後の礼状作成や振り返り学習を通じて自身が学んだことを改めて整理し、より進路活動を具体的にイメージすることで来年の就職活動、受験対策が現実的なものとなりました。

また、インターンシップで学んだ業界に関する興味は「総合的な探究の時間」の課題研究という形で次の探究活動に繋げていきます。



1 年次生 「産業社会と人間」 先輩の話を聞く

10月5日（木）、「先輩の話を聞く」を実施しました。こちらも1年次生の進路選択・科目選択の一助となるよう企画しているもので、今年度はH20～R4年度までの本校卒業生8名を招き、在学中から現在に至るまでの話をしてもらいました。最初に体育館で8名全員からの話を聞く「全体会」があり、その後それぞれの先輩から詳しく話を聞く「分科会」が各教室において実施されました。現在就いている仕事についての話はもちろん、本校在学中にどんなことを頑張っていたか、また今の1年次生へのメッセージやアドバイスもたくさん聞くことができました。本校卒業生という身近な存在からの話は生徒たちの心に大変響いており、また自分たちの未来の姿を想像しながらたくさん質問している姿がありました。



3年次生 「総合的な探究の時間」 課題研究

総合学科での学びの集大成となる本校の課題研究。毎年改善を重ね、「東翔スタイル」と呼べるものが確立されつつあります。そして、より深い研究活動を実現するため、今年度は新たな試みを取り入れました。そのキーワードとなるのが「やってみた」です。

「やってみた」とは、単なる調べ学習からの脱却を目指す中で「調査・分析」のプロセスを充実させ、設定したテーマについての仮説を検証するための手立てとして、インターネットでの情報収集にとどまらず、「観察・実験・制作・インタビュー・アンケート・体験」等のより主体的な方策を取り入れることを意味します。7月に実施した中間発表は、生徒同士が情報を共有したり、お互いの発表を評価しあったりする良い機会となったようです。研究の完成形となる11月の「まとめ発表」を経て各クラスから選出された代表生徒は、12月7日（木）に実施される「課題研究全体発表会」にむけて熱心に準備を進めています。総合学科での3年間の学びを活かし、「産社・総探」の総まとめとして一人ひとりが課題研究に取り組んだ成果に期待が高まります。

